

天橋立を世界遺産に！
美しいふるさとを子ども達に残そう

天橋立を世界遺産にする会

事務局：宮津市企画環境室企画係 〒626-8501 京都府宮津市字柳縄手345-1
TEL0772-22-2121(代) FAX0772-25-1691
email hashidate@city.miyazu.kyoto.jp HP http://www.city.miyazu.kyoto.jp/~hashidate/



天橋立憲章の制定等について -天橋立を守る会の活動-

天橋立を守る会（会長 森輝吉氏）は、天橋立を保全するためのルールを明文化した憲章である『天橋立憲章』を制定されました。

この憲章は、先人達が大切に守り、伝えてきたかけがえのない宝物である天橋立を未来に残していくためのもので、4月12日に行われた『第34回 クリーンはしだて 1人1坪大作戦』で発表されました。

この憲章を守ることと合わせて、多くの人々に伝え広めていくことが何よりも大切なことです。私たちも、この憲章の言葉を心に刻み、折に触れて人々に伝えていきたいと思います。



発表会では、市民の代表として吉津・府中小学校の児童たちで、憲章を読み上げました。そして、参加者みんなが、天橋立の美しい風景を守り、つないでいくことを誓いました。



春の恒例行事となったクリーンはしだて1人1坪大作戦。第34回となる今回は、地域の皆様をはじめ1,700人の参加があり、約3トンのごみ（松林の落ち葉や海岸の漂着ごみ等）が集まりました。

天橋立を守る会が緑綬褒状を受けられました

今年の春の褒章において、社会奉仕活動に対して授与される「**緑綬褒状**」を天橋立を守る会が受けられました。

昭和40年に設立された天橋立を守る会は、環境保全活動に取り組みされており、毎年多くの方の参加がある**クリーンはしだて1人1坪大作戦**のほか、与謝野寛・晶子夫妻の歌碑を建立するなど天橋立の多面的な価値の広報・学習や、記念碑の説明板等の設置などの環境整備、ホームページによる情報発信など、様々な事業に取り組まれています。

近年では、ネイチャーガイドや清掃指導員といった、天橋立の価値や保全の大切さを伝える「人の育成」に力を入れています。また、子ども達へ、天橋立の素晴らしさや環境保全の大切さを伝えることがなにより大切であるとして、教育にも重点を置いています。

天橋立を守る会 会長の森輝吉氏は、本会の副会長でもあり、毎朝、天橋立や隣接する阿蘇海沿岸の漂着ごみを拾う活動を続けておられます。

こうした活動が、天橋立の保全には大切なことで、今回、緑綬褒状を受けられたことは、大変嬉しいことです。



◆天橋立憲章◆

白砂青松 天橋立、この美しい姿は、「神が住み給える聖地」として先人達が大切に守り受け継いできた地域の財産です。

百人一首にも収められた小式部内侍が母を焦がれて詠んだ歌、雪舟の宇宙観が思う存分に表現された国宝『天橋立図』、与謝野晶子が辿りついた最後の吟遊の地、天橋立はそれぞれの時代の文人墨客の感性を磨いてきました。

ふるさとの、そしてこの地球（ほし）のかけがえのない宝物である天橋立を、心の聖地として美しいまま次世代へ繋いでいくため、より多くの人々が天橋立を知り、守る気持ちを育むために、ここに「天橋立憲章」を掲げ、すすんでその精神を生かすようにつとめます。

天橋立の美しい姿を未来につなぎましょう
ゴミを持ち帰り、みんなの施設をきれいに使います
たき火、花火、バーベキュー、キャンプなどをおこないません
天橋立の中での歩きたばこやポイ捨てはしません

天橋立の貴重な財産を守りましょう
天橋立の草木を折ったり持ち帰ったりしません
海や砂浜、海岸を汚したりこわしたりしません
野鳥や動物などを驚かせません

天橋立を大切に思う心を育みましょう
天橋立の多様な価値を学び大切にします
天橋立の保全活動などに積極的に参加します
天橋立をふるさとの宝物として誇りを持ちます

天橋立の保全の輪を広げましょう
天橋立を多くの人に知ってもらいます
天橋立を愛する気持ちを伝えます
天橋立を訪れる方々をあたたかく迎えます

天橋立の保全について -松葉を拾うのはどうして?-

クリーンはしだて1人1坪大作戦などで、天橋立公園内の清掃をする際、ごみはほとんどありませんが、松葉を大量に拾っています。
では、そもそも何故松葉を拾うのか、ご存知でしょうか？



その理由は、松の特性にあります。
天橋立を被う松は、太陽の光を好み、痩せた乾燥地でも育成するという性質を持っています。
松葉が取り除かれずに放置されると、土壌が富栄養化されます。結果、肥沃地を好む広葉樹への遷移が進んでしまいます。

かつては、松葉や枯れ枝などを燃料として使用しており、天橋立の松は適正に維持されていました。現在では、松葉を定期的に取り除かなければ、天橋立が持つ『白砂青松』の美しさが失われてしまうのです。

天橋立を世界遺産にする会 平成21年度総会

平成21年5月27日、宮津商工会議所において、天橋立を世界遺産にする会の総会を開催しました。

平成20年度の事業・決算報告において、約2,280人の参加のあったHANDinHAND天橋立をはじめとする各種事業（総事業費約530万円）について報告し、了承をいただきました。

また、本年度の事業計画では、天橋立の多様な側面や世界遺産登録運動の意義等の情報発信を重点的に行うことを決めました。

今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

※H20事業報告・決算、H21事業計画・予算はHPで確認いただくことができます。



DVDの活用について

総会の議事終了後、平成20年度に作成したDVD「人から人へつながる天橋立」の上映を行いました。

会では、平成19年度に作成したDVDと合わせて、2枚のDVDを所有しています。

このDVDについては、各団体等のイベント・総会等で上映をしていただける場合には無償で貸し出しをしています。また、会員個人の方への貸し出しも行っています。

(郵送でお送りする場合、返送費用はご負担ください。)

DVDをご活用いただける方は、事務局までご一報ください。

平成21年度実施予定の主な事業

①天橋立世界遺産登録PR事業

天橋立の世界遺産登録運動等を情報発信するための各種PR事業。

- ◆「天橋立—日本文化景観の原点」の外国人向けDVD等によるPR
◆ホームページによるPR
◆会報等情報誌によるPR

②他団体との連携

天橋立を取り巻く関連団体や天橋立を生かしたイベント等(*)との連携を図り、天橋立の価値の掘り下げや情報発信、環境美化等に努める。

*関係団体…天橋立を守る会、宮津青年会議所など

*関連イベント…宮津・与謝 ふるさと絵巻・天橋立「能・丹後物狂」など

①天橋立—日本の文化景観の原点

- ・約15分
・天橋立の世界文化遺産暫定リスト提案書の内容に沿ったもの。(天橋立の文化芸術面に焦点)

②人から人へつながる天橋立

- ・約37分
・天橋立の四季、周辺に住む人々の祭等の風俗を紹介するもの。

*DVD製作：「NPO法人 京都の文化を映像で記録する会」



天橋立に関連するイベント

天橋立「能・丹後物狂」

—天橋立「能・丹後物狂」実行委員会—

『丹後物狂』は、天橋立の智恩寺・文殊堂にまつわる父子の悲愛を描いた物語で、天橋立を愛し、幾度もこの地に訪れた足利義満に愛された世阿弥が捧げた物狂能の名作です。

長い間、廃曲となっていました。観世宗家が復曲し、物語の舞台である天橋立で初上演いたします。

- 日時 平成21年10月24日(土)
○場所 智恩寺(宮津市字文珠 KTR天橋立駅徒歩5分)
*雨天時は宮津会館
○シテ 二十六世 観世宗家 観世清和

※10月24日の演能以外にも、シンポジウム等の催しを実施予定です。

～丹後物狂 あらすじ～

文殊菩薩に願をかけ、ようやく授かった男児、花松。

学問修行の成相寺で「ささら八撥」にも興じたことを激しく怒った父は子を勘当、花松は悲しみのあまり天橋立の涙が磯から身を投げる。

父は子を失った悲しみから物狂いになってしまう……



宮津与謝 ふるさと絵巻

—社団法人 宮津青年会議所—
—天橋立を世界遺産にする会—

地域の中で伝えられてきた民話や神話を掘り起こし、絵本として残すことで、このまちをもっと知って欲しい、好きになって欲しいとの思いから、『宮津与謝ふるさと絵巻』を開催したところ、約500人の方にお越しいただきました。

- 日時 平成21年6月7日(日)
○場所 京都府立丹後郷土資料館前広場及び旧永島家
○内容 映像でつづる昔話の上映
郷土芸能の披露、郷土料理の振舞い



イベント当日は、子どもから大人までたくさんの方にお越しいただきました。そして「地元こんな話があったんや!」とふるさとへの思いを新たにしました。

※ 作成した絵本には、天橋立にまつわる「天の懸け橋」「久世戸縁起」をはじめ、近隣市町の民話等全6話を収録しています。絵本「宮津与謝ふるさと絵巻」は、社団法人 宮津青年会議所で販売しています。

- ・販売金額 1,500円(税込)/冊
・購入方法 FAX、メール、電話等で「住所、お名前、電話番号、申し込み冊数」をご連絡ください。
・申込先 社団法人 宮津青年会議所 事務局
TEL/FAX: 0772-22-5203
メール: jcmiyazu@tiara.ocn.ne.jp

籠神社神幸二千五百年紀

—籠神社—
—社団法人 天橋立観光協会—
—心・ルネサンス天橋立実行委員会—

籠神社の神域整備を記念した各種の行事を開催しました。

- 期間 平成21年4月21日～5月31日
○内容 籠神社「葵祭」
籠神社 神域整備事業竣工記念行事
特別公開「丹後国一宮 籠神社の至宝」展
浅野温子語り舞台『日本神話への誘い』 ほか



籠神社のある府中地区は、中世には「丹後の都」として栄えており、その様子は雪舟筆 国宝「天橋立図」にも描かれています。

地元ではこの雪舟図をモチーフにまちづくりを進めていますが、今回は府中が持つもう一つの魅力である神話にも目を向け、語り舞台や学習会などを実施されています。

天橋立を世界遺産にする会 活動への参画のお願い

◆地域を元気に!!◆

本会の活動以外にも、天橋立に関係するイベント等は様々に行われています。こうした活動にも是非ご参画いただき、地域を盛り上げていくよう、御協力をお願いします。

◆運営に参画を!!◆

今年度より、この会報の作成なども含む会の運営を、会員の方から募集する「作業部会」により進めていきたいと考えています。詳細が決まれば改めて募集を行いますが、関心がおありの方はお問合せください。